公益社団法人私立大学情報教育協会

平成 26 年度第 1 回 CCC コミュニケーション関係学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時：平成 26 年 6 月 14 日（土）15:00～17:00

II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者：阿部委員、鈴木委員 事務局 井端事務局長、森下主幹

IV. 配布資料

- ・平成 25 年度第 2 回議事録概要
- ・公益社団法人私立大学情報教育協会 平成 26 年度事業計画書
- ・平成 26 年度委員名簿

①平成 26 年 CCC コミュニケーション関係学グループの活動計画

②対話集会に関する検討事項(メモ)

③対話集会に向けた検討事項について

参考 1：用語集

参考 2：長崎大学 教育イノベーションセンターアクティブラーニング事例集 1

参考 3：長崎大学 教育機能開発センター紀要第 3 号付表 1 P82~P85

参考 4：学ぶ育む 大学の實力現場を歩く「双方向型授業」読売新聞 2014. 2. 7

参考 5：「学長アンケート」日経新聞 2014. 4. 7

参考 6：「営業戦略」「海外進出」日経新聞 2014. 2. 6

V. 議事内容

- ① 本日の委員会について、事務局より検討事項と資料の説明
- ② 事務局長による現状報告と、平成 26 年度委員会活動の進め方について
 - ・ 今後 3 年間、平成 29 年度までに政府方針の主体性を育む能動学習の推進また完成を目指すよう国公立大学に通知がなされている。
 - ・ 学長の権限を強化し、責任を明確化する。(教授会の権限は縮小する。)
 - ・ 私学への予算配分は、教育の質的転換、具体的には学生の主体性を育む能動学習（アクティブ・ラーニング）の推進の観点（シラバス、教員間の点検、ポートフォリオ）の評価に基づいて決定される。(全学単位)
 - シラバスには予習・復習の内容をきちんと書き込む。
 - シラバスの内容を教員間で点検する。
 - ポートフォリオによって学生の学習行動、学習時間、学習内容を把握する。
 - 授業が効果的に行われたか、ポートフォリオを通じて教員自らが振り返る。
 - 授業が効果的に行われたかにつき、大学全体で組織的に把握し改善に努める。
 - ・ 私情協では、それぞれの先生方がアクティブ・ラーニングの推進にどのように取り組んでいるかの情報交換を行うことを目的として活動していく予定である。

- ・ 参考資料（長崎大学、北海道大学の取り組み例など）について。
- ③ 対話集会の進め方について
 - ・ 他の委員会の動きも鑑みて、年度内に開催したい。
 - ・ (1) 委員による取り組み事例の紹介、(2)公募による事例紹介。
 - ・ その後の教職員間の対話を重視したい。
 - ・ 開催日は、11/8(土)または9(日)に決定（会場は成城大学）。阿部先生と成城大学の日程を考慮した上で決定する。
 - ・ 各大学学長宛に案内を送付する。

※ 次回委員会は、8/27(水)または28(木)に開催。